

○十日町市と包括的な連携協力に関する協定を締結

4月14日、十日町市との包括的な連携協力に関する協定を締結しました。

この協定は、本学と十日町市の包括的な連携のもと、文化、教育、学術研究等の分野で相互に協力することにより、人材の育成と地域社会の発展に貢献することを目的とするものです。

このほど十日町市役所で行われた締結式には、十日町市から関口芳史市長、村山潤副市長他4名、本学から川崎直哉学長、梅野正信理事兼副学長ほか2名が出席しました。

締結式で関口市長は「大地の芸術祭への学生参加、ほくほく線の利用促進のほか、地場産品を活かした農業やヘルスケアなどの分野で協力し、地域振興につなげたい」と述べ、川崎学長からは「本学にはあらゆる分野のスタッフが揃っている。多様な取り組みに対して協力していきたい」と今後に向けた期待が語られました。

今後は、十日町市内の学校等を利用した教育実習や教員研修など、教育研究活動の推進をはじめ、本学が持つ幅広い分野の知識・技術を活かした地域の活性化が期待されています。



○就職試験受験出陣式で学生を激励

6月14日に「就職試験出陣式」を開催し、6月末から始まる教員採用試験に臨む学生たちを激励しました。教採直前ガイダンス「今年はこちらが狙われる」の後に行われた出陣式には、100人余りの学生と教職員が参加しました。

はじめに、プレイスメントプラザ室長の直原副学長が「みなさんの可能性を信じて応援している。ぜひがんばってほしい」と激励し、木刀で夢想神伝流の型による四方露払いの儀式を披露しました。

続いて、激励パフォーマンスでは、地元の『越後上越 上杉おもてなし武将隊』による演武が披露されました。また、受験者を代表して学部4年の大滝征さんは「信頼される先生になるためにも、まずは教員採用試験を突破し自分の夢をかなえたい」、教職大学院の米田優衣さんは「大切なのは自信を持って行動すること。みんなで一緒に合格しましょう」と決意を表明しました。

就職委員会の桐生教授からは、自身の教員採用試験でのエピソードをもとに「自分の中に理想とする教師像を作ることによって自信が生まれる。その自信を持って試験に臨んでほしい」とエールが送られ、『絶対合格』の勝ちどきをあげました。

最後に参加者全員が集合し、「就職試験へ、いざ出陣」の掛け声で必勝を誓いました。



○上越教育大学出版会から書籍3冊を刊行

本学での研究内容や成果の公開を促進し、わが国の学術・教育・文化の振興につなげることを目的として設置された本大学出版会（会長：川崎学長）から、このほど3冊の書籍が刊行され、小笠副学長と各書籍の著者の代表による記者発表を行いました。

各書籍の内容は次のとおりです。

『教育実習ハンドブック：こんなときは、どうするの？実習の不安解消します！』

初めての教育実習に不安を抱えている学生が、少しでも不安を解消し、意欲的に教育実習に取り組むことができるように配慮してあります。

『大学生生活と健康：見直そう日々の暮らし』

生活範囲が拡大し、直面する健康課題も大きく変化する大学生に身に付けてもらいたい知識を健康・安全・食を中心に項目ごとにまとめてあります。

『「思考力」を育てる:上越教育大学からの提言 1』

新しい学習指導要領に配慮し、「21世紀を生き抜くための能力」育成の中核となる「思考力」に関する考え方や手立て、評価規準の観点等を整理し、具体的な教材に適用可能かについて10の教科、幼年教育や特別支援教育などにおける検討結果を記したものです。

記者発表では、引き続き“実践力”についても出版することが示されました。



○「いじめ等予防対策支援プロジェクト〈BPプロジェクト〉研修会」を開催

6月22日に、いじめ等予防対策支援プロジェクト（BPプロジェクト）平成29年度研修会「教員養成大学におけるいじめ授業の在り方を考える」ー授業参観と研究協議会ーを開催しました。

BPプロジェクトとは、いじめ問題に関して特色のある取組を行っている宮城教育大学、鳴門教育大学、福岡教育大学、本学が連携し、平成27年4月に立ち上げた協働参加型ネットワークによる「いじめ防止支援プロジェクト（BPプロジェクト）」事業です。

本学では平成27年度から、教育関係者・学生・一般の方を対象にいじめ問題への関心の喚起、啓発を目的としてフォーラムを開催してきましたが、今年度は、趣向を変え、教員を目指す本

学の学生に学校現場において喫緊の課題である「いじめ問題」について、アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、「学生の実践力や思考力を高める授業」をどのように構築していくかを学部授業科目「初等特別活動論」及び大学院授業科目「いじめ等先端課題研究特論」をBPプロジェクト関係者に参観いただいた後、研究協議会を開催しました。

協議会では参観メンバーから、いろいろなお意見をいただき、今後の授業構築に活かして行くべく、また、それを連携大学でも取り入れていってもらえるよう研究を継続していくことなど活発な討議が行われました。

なお、今回の授業公開は、本学のFD委員会による授業公開月間に併せて実施され、教育委員会関係者等も学部学生対象の授業科目「初等特別活動論」を参観されました。



■発行・お問い合わせ先

〒943-8512 上越市山屋敷町1番地

上越教育大学広報課

電話:025-521-3626 F A X :025-521-3627

E-mail : kouhou@juen.ac.jp